

**ダイアボンド No.3820**

(二酸化マンガン架橋タイプ)

ダイアボンドNo.3820は、ポリサルファイドゴム(多硫化ゴム)を主成分とするシーリング材で、水密、気密の必要なあらゆるジョイント部のシールに最適な高モジュラスタイプです。

§ 一般性状

|                   | 主 剤           | 硬化剤            |
|-------------------|---------------|----------------|
| 主 成 分             | ポリサルファイド      | 金属酸化物(二酸化マンガン) |
| 外 観               | 黒色            | 茶褐色            |
| 比 重 at20℃         | 1.50 ± 0.1    | 1.56 ± 0.2     |
| 不揮発分(%)           | 100           | 100            |
| 粘 度 (mPa·s) at20℃ | 150万 ~ 300万   | 50万 ~ 150万     |
| 保証期間(月) at25℃     | 6             | 3              |
| 混 合 比             | 100 対 11      |                |
| 可使時間(分)           | 120 ~ 240     |                |
| 硬化時間(時間) at20℃    | 48 ~ 72       |                |
| ス ラ ン プ           | 垂直シーリングにてダレなし |                |

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。目地深さ調整と三面接着を避けるために、バックアップ材を詰めます。目地仕上げと使用部所周辺への汚れ防止にマスキングテープをはります。
2. プライマー塗布 目地面にプライマーを均一に塗布し、60分以上乾燥させます。プライマーにより塗布量は異なります。
3. シーリング材塗布 主剤・硬化剤を均一になるまでよく混合し、コーキングガンなどで目地へシールします。混合したものは可使時間以内に全て使用して下さい。
4. 仕上げ 可使時間内にスパチュラやナイフなどで表面を仕上げ、最後にマスキングテープを除去します。

## § 被着材および使用プライマー

ダイアボンドNo.3820の使用に際しては、必ず被着材に合わせたプライマーをご使用下さい。

\*プライマーの選定については、弊社にご相談下さい。材料をご提供頂き、密着性の確認を致します。

## § 硬化剤の種類と使用時期

硬化剤は F, M, S 型の 3 種類があり、使用時期に適した硬化剤を使用して下さい。

※ 使用雰囲気温度

|   |             |
|---|-------------|
| F | 平均 10 °C 前後 |
| M | 平均 20 °C 前後 |
| S | 平均 30 °C 前後 |

(注) 季節により切り換えますので、各タイプが常時在庫ではありません。

## § 注意事項

- ・ 降雨時など使用面が濡れている場合の施工は避けて下さい。
- ・ シーリング材は密栓して冷暗所に保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはダイアボンド4THかトルエンなどをご使用下さい。
- ・ プライマー塗布後、8時間以内にシール作業を完了するようにして下さい。